

障害者就業・生活支援センター／ 京都市障害者職場定着支援等推進 センターの役割について

～地域における就労支援・定着支援～

京都障害者就業・生活支援センター
京都市障害者職場定着支援等推進センター
所長 戸田則子

本日の流れについて

I 障害者就業・生活支援センターとは

II 京都市障害者職場定着支援等推進
センターとは

III 支援事例について

I 障害者就業・生活支援 センターとは？

障害者就業・生活支援センター

・障害者就業・生活支援センターは、就職を希望している障害のある人、あるいは在職中の障害のある人を対象に、お住まいの身近な地域でハローワークや職業センター等の関係機関と連携しながら、様々な支援制度を活用しつつ、就職に当たつての支援や就職後の定着支援。就業面と生活面を一体的に支援を実施。

・「**障害者の雇用の促進等に関する法律**」
(**障害者雇用促進法**)に基づいて設置。

・京都府内には8センター設置。全国には、
332センターが設置（H29年5月15日現在）

京都府内の就業・生活支援センター

- ◇障害者就業・生活支援センター **こまち**（丹後）
- ◇障害者就業・生活支援センター **わかば**（中丹）
- ◇ **なんたん** 障害者就業・生活支援センター（南丹）
- ◇障害者就業・生活支援センター **アイリス**（乙訓サブ）
- ◇障害者就業・生活支援センター **はぴねす**（山城）
- ◇障害者就業・生活支援センター **あん**（山城南）
- ◇ **京都** 障害者就業・生活支援センター（京都市サブ）
- ◇障害者就業・生活支援センター **はあとふるアイリス**
（京都市サブ：南区・伏見区）

京都障害者就業・生活支援センター

◇平成15年4月1日指定

◇運営：社会福祉法人京都総合福祉協会

◇住所：京都市左京区下鴨北野々神町26

北山ふれあいセンター4階

◇**圏域：京都市サブ**

**(上京区・中京区・下京区・右京区・左京区・
北区・西京区・東山区・山科区) H27.5月～**

しょうがい者就業・生活支援センター はあとふるアイリス

◇平成27年5月1日指定

◇運営：一般財団法人 長岡記念財団

◇住所：京都市南区東九条下殿田町70番地
京都テルサ西館3階

◇**圏域：京都市サブ
(南区、伏見区)**



- 「はたらく」、「くらす」を一体的に支援
- 身近な地域での企業、福祉、教育、行政などとの「紡ぎ役(つなぎ役)」
 - **よろず相談所**のような存在



- **「スキルアップしたい！」や「疲れた・・・」**
など、働いた期間によってわき上がってくる
思いは様々。
- **色々なことが重なって、退職に至った方の
今後についての相談も。**

様々な機関との連携をしています

企業

京都障害者職業相談室
ハローワーク（西陣・伏見・宇治等）

障害者職業センター
職業カウンセラー
ジョブコーチ

福祉就労系事業所

就労移行支援事業所
就労継続支援A型事業所
就労継続支援B型事業所

はあとふるジョブカフェ

地域生活支援センター
特定相談支援事業所

医療機関

主治医
精神保健福祉士
作業療法士等

各種専門相談機関

難病相談・支援センター
発達障害者支援センター
高次脳機能障害支援センター

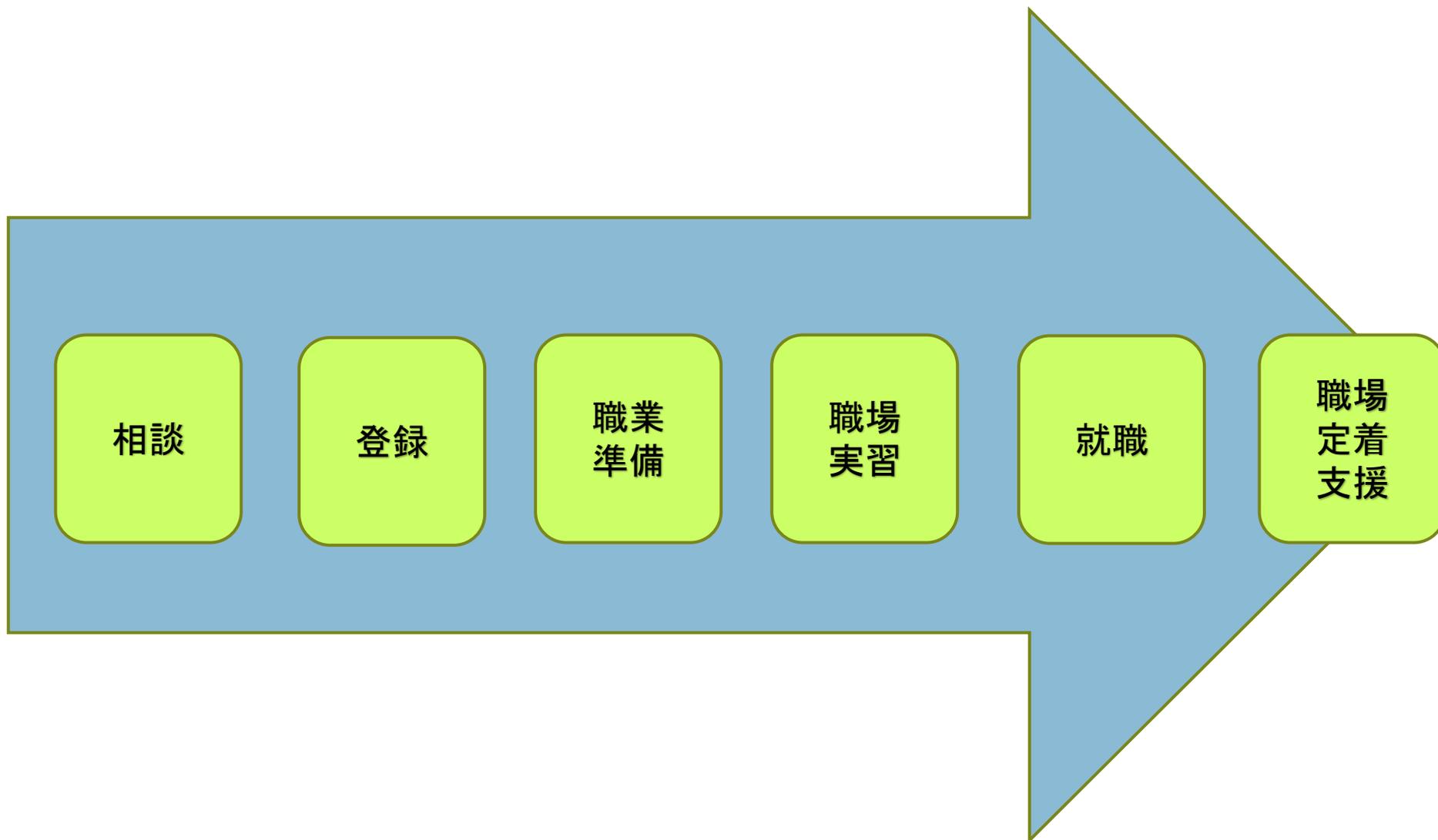
各種学校

総合支援学校、高等技術
専門学校、大学など

行政機関

保健福祉センター

就業支援の流れ



相談

まず、お電話ください。
こちらから改めて、相談日の連絡を致します。

登録

お話を聞かせて頂いて、継続して相談や支援を希望される場合、登録をしていただきます。その後担当者を決めて支援していきます。

職業
準備

必要に応じて、職業センターや専門校、就労系の施設等を利用していただき、準備を整えます。

→ 職業準備とは？

職業準備

- 基本的な挨拶や返事、企業で求められるマナーの学習
- 履歴書の書き方講座や面接の練習
- 「はたらく」ことについてのイメージづくり
→ 就業準備セミナーを開催
- 職業評価
- 規則正しい生活を身につけること
- 毎日働ける体力をつけること
- 主治医と働くことについての相談

職場
実習

企業で体験実習をします。働くために必要な挨拶やマナーを学ぶとともに働く力を確認します。

→ 職業実習とは？

就職

ハローワークの紹介を経て就職します。

職場
定着
支援

安定して働くことを目指します。

→ 職場定着支援とは？

職場実習

- ・ 実際の企業で体験的に働く。（3日～2週間程度）
- ・ 企業で働きながら、挨拶やマナーを学ぶとともに、その職場に応じたスキル（必要なこと）を学ぶ。
- ・ 本人だけでなく、支援者にとっても確認の場となる。
- ・ 段階に応じて、時間や日数、実習内容は相談。
- ・ 働く体験をすることで、自身の職業生活を組み立てる。



本人のニーズ

- ・ 企業ではたらくってどんな感じ？
- ・ 自分自身の現時点での働く力ってどれくらいなんだろう・・・

支援者のニーズ

- ・ 働き方の確認
(どれくらい働ける？)
- ・ 職種や業種のマッチング

就業・生活支援 センターが コーディネーター役

企業のニーズ

- ・ 障害者雇用のイメージ作り
- ・ 社会貢献という面も・・・

職場定着支援（長く働き続ける為の支援）

- 就職した後も継続的な支援。
- 職場訪問、定期的な面談、事業所（企業）との面談。
- 孤独感の緩和、モチベーションや緊張感の維持。
- 職場での悩みや困りごとの相談。
- 就業を継続していく上での生活の悩み等の相談。
- 登録者同士が交流し、お互いの悩み等を話し合う機会の提供。

Ⅱ 京都市障害者職場定着支援等 推進センターとは？

京都市障害者職場定着支援等 推進センター

- ◇平成26年4月1日本所開所
- ◇平成29年4月1日南部分室 開所
- ◇本所：京都市左京区下鴨北野々神町26
北山ふれあいセンター4階
- ◇分室：京都市南区東九条下殿田町70
京都テルサ西館3階
- ◇**対象者：障害者就業・生活支援センター
(京都及び、はあとふるアイリス)に登録
している一般就労されている方**

定着支援に向けた取組①



～交流
サロン～

ぽろぽろ



サロン特別企画

「電車好き集まれ！」



定着に向けた取組②

定着セミナー ～金銭管理・マルチ 商法被害対策



「働く」＝「収入を得る」
トラブルが増加する
ことも…。

保護者の方も参加して
もらって、家庭からの
サポートの参考に。

定着に向けた取組②

定着セミナー ～アングァーコントロール～



「働く」→「イライラすることも多いはず・・・」
トラブルに繋がることも・・・。
「怒り」が悪いことではなく、
どうコントロールするかが大切
であると学びました。
「6秒」がキーワード！

定着に向けた取組③



IV 支援事例

よくある相談とは？

いろいろな事例があります。

□ □

難しいケースも □ □ □



支援事例 ①

支援学校（養護学校）を卒業して約30年…

色々ありながらも、頑張っずずっと同じ会社で勤務されてきたAさん。ご本人も年齢を重ねてこられました。当然、ご両親も高齢に。その中で、課題となってきたのが…

「介護」と「仕事」の両立

支援事例 ②

支援学校を卒業して7年…

離転職をくり返す。最初の離職は「職場の人から嫌がらせを受けた」と仕事のやり方について注意を受けたことが理由。今続いている離職理由は…。

「同年代のアルバイト」へのライバル心

支援事例 ③

支援学校を卒業して18年。

地域校→現在の就労継続支援B型事業所→
就労移行支援事業所→一般就労へ

福祉施設への就職。当初から、通所者との
関係性が課題。

「利用者」と「職員」の立場が
分かりにくいケース

☆「企業で働く」を支援するということ

- ・「就職したいです」という本人の思いを支援する前に、就労準備性は整っているか見極めることが大切。
 - ・企業は「作業スキル」<「生活スキル」が高い人を求める。生活面の崩れがトラブルや離職へと繋がる。
 - ・いつまでも「事業所の利用者」ではなく、就職したら「御社の社員」である。
 - ・企業やなかぽつは敵ではない！ 伴走者。
- 企業はその仕事のプロ。支援者は支援のプロ。

企業との協働で定着支援を図るもの！

- ・企業との連携を密に取ることで、早めにストレスサインに気付くことが出来る。